

2026年5月20日

日本ゼオン株式会社

**日本ゼオン、CDP サプライヤーエンゲージメント評価において
最高評価「サプライヤーエンゲージメント・リーダー」に初選定**

日本ゼオン株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長兼CEO:豊嶋 哲也、以下 ゼオン)は、国際的な環境非営利団体 CDP^{*1} (本部:英国)が実施する 2025 年の「CDP サプライヤーエンゲージメント評価 (Supplier Engagement Assessment:SEA)^{*2}」において、最高評価である「サプライヤーエンゲージメント・リーダー」に初めて選定されました。



CDP サプライヤーエンゲージメント評価は、CDP の気候変動質問書への回答をもとに、「ガバナンス」「目標設定」「スコア 3 排出量の把握と管理」「リスク管理プロセス」「サプライヤーとのエンゲージメント」の 5 つの観点から、企業がサプライチェーン全体でどのように気候変動課題に取り組んでいるかを評価するものです。

この度、ゼオングループが推進してきたサプライヤーとの協働による温室効果ガス排出量削減に向けた取り組みや、調達活動を通じた継続的な対話が評価され、最高評価の獲得に至りました。

ゼオンは、企業理念「大地の永遠と人類の繁栄に貢献する」のもと、サステナビリティ経営を推進しています。今後もサプライヤーをはじめとするステークホルダーとの協働を通じて、気候変動をはじめとする社会課題の解決に取り組み、「社会の期待」に応える会社を目指してまいります。

*1 CDP (Carbon Disclosure Project) : CDP は 2000 年に英国で設立された国際的な環境非営利団体であり、企業や自治体が自らの環境影響を把握・管理するための情報開示システムを運営しています。CDP の評価結果は、投資家や企業の意思決定に活用される国際的なベンチマークとなっています。2025 年は 22,100 社以上が CDP を通じて環境データを開示しました。

*2 CDP サプライヤーエンゲージメント評価 (SEA) : CDP の気候変動質問書に回答した企業を対象に、特にサプライチェーンにおける気候変動対応とサプライヤーとの協働状況について評価する仕組みです。今回 CDP に情報開示した約 22,100 社のうち、1,965 社が、最高評価の「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー」に選定されました。

以上

本件に関するお問い合わせ先: 日本ゼオン株式会社 経営企画統括部門 広報室
電話: 03-3216-2747 お問い合わせフォームは [こちら](#)